

出町大いと場跡の石碑
かつてはここから東へ100メートルほど先の堀川橋付近には大きな川いどがあり、城下町豊岡の北の玄関として船着き場があった。千石船の廻船も荷あげをしたという。

県道3号
至城崎温泉

柳之宮

小田井縣神社

昭和初期の円山川改修工事により、小田井縣神社と小田井地区は西側へと移転された。

河川改修による小田井地区の移転に伴い、豊岡駅を一直線に結ぶ寿通りが作られた。

至ロータリー

鉄筋コンクリートの靴メーカー

豊岡城から見て鬼門(北東)に位置することから、寺院が多い。城下町では防衛機能の役割を果たした。

養源寺

鉄筋コンクリートの商店

通りには鹿まんじゅうなど、お菓子屋さんも多い。

靴工房 アトリエ嘉玄(Kagen)
靴職人が作った商品を直接購入できる。2階には「柳行李」や「行李靴」、「ファイバー靴」など数多く展示している。

鉄筋コンクリートの旧商店

御霊神社

豊臣秀吉の家臣で、豊岡の名を付けた初代豊岡城主・宮部継潤(善祥坊)を祀る。税金免除など善政を行ったことから、民に慕われた。神社の脇には細い路地が通り、春には桜のトンネルができる。

駅前(大開通り) 至豊岡駅

国道312号線 至養父市

国道312号線 至京丹後市

コウノトリのモニュメント

銀行だった 医院・豊岡画廊

老舗の靴メーカー かつては柳行李の編み目が施してある。

大開通りから北側は明治以降に発展した。

旧道は杞柳細工のメーカーや問屋が多かったことから、料亭なども多く、繁華街として賑わった。

幸之神神社

光行寺

緑青の銅板が目目を引く柳行李の旧商店

水門だったと見られる門柱

タイル張りの商店

かつて小田井神社の神官を務めていた「物部連大石家神官屋敷址」

堀川 不動尊

かつての参道で、この辺りに鳥居があった。

江戸時代の水路工事により、中洲となった旧六地藏地区は、コリヤナギの産地であった。

大正11年から昭和13年にかけて行われた円山川第一期改修工事により、旧円山川は廃川となり、真っ直ぐにして川幅も広げられた。

